

2026年5月13日

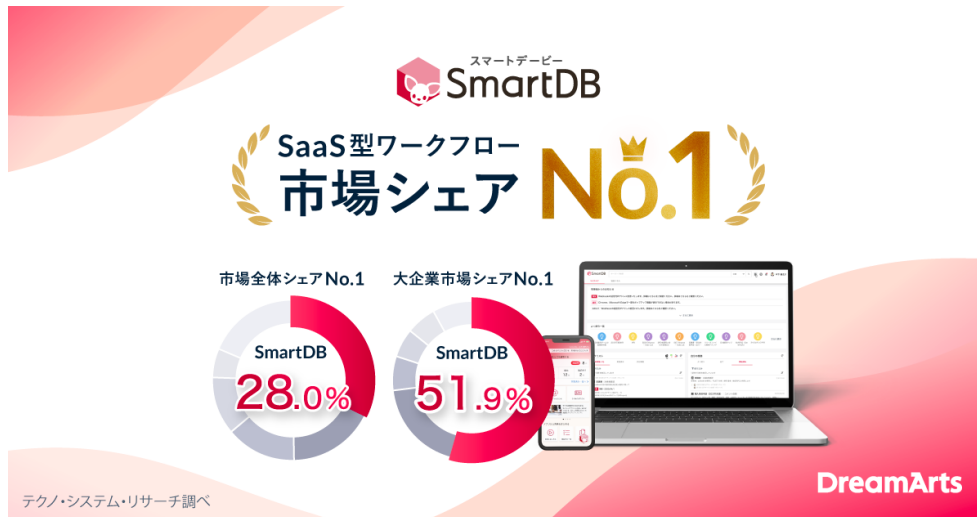
報道関係各位
プレスリリース

株式会社ドリーム・アーツ

SmartDB が SaaS 型ワークフロー市場で 5 年連続シェア No.1 を獲得 ～大企業シェアも連続 No.1、標準機能の充足度と実用的な AI 活用を強みに～

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、民間調査会社の株式会社テクノ・システム・リサーチ（本社：東京都千代田区、代表者：藤田 明良、以下 テクノ・システム・リサーチ）の調査の結果、2025 年における SaaS 型ワークフローの市場において、業務デジタル化クラウド「**SmartDB®**（スマートデービー）」が市場シェア 28.0%となり、5 年連続シェア No.1 を獲得したことを発表します。さらに、従業員数 1,000 名以上の大企業におけるシェアは 51.9%で No.1^(※1)を獲得しました。

※1 テクノ・システム・リサーチ社「2025 年 SaaS 型ワークフロー市場のメーカーシェア調査」より



■調査結果のポイント

- ・2025 年の SaaS 型ワークフロー市場はライセンス売上金額ベースで 105 億 5,500 万円。前年比 132.9%の成長率となり、2028 年の市場規模は 181 億円規模まで拡大する見通し。
- ・すでにワークフローシステムを導入済みの中堅・大手企業においてはオンプレミスから SaaS への移行やリプレース案件が中心に。
- ・ERP や基幹業務システム更新の際にカスタマイズ部分を分離して、ノーコードプラットフォーム

ーム上に実装するケースもあり、一つのトレンドとなる可能性が高い。

・業務デジタル化クラウド **SmartDB®**は高い拡張性や他社 SaaS 製品との優れた連携機能により従業員数 1,000 名以上の大企業においてシェア率 51.9%を達成し、市場シェア No.1 を 5 年連続で獲得。

■SaaS 型ワークフローの市場動向と SmartDB が大企業に選ばれる理由

大企業においては、効率化を目的とした業務デジタル化ニーズが引き続き高い水準で存在しています。また近年、基幹システムのクラウド化が進展し Fit to Standard の考え方に基づき、これまで個別にカスタマイズしてきた周辺業務を SaaS へ移行する動きが加速しています。さらに、こうした SaaS 化により蓄積される業務データを活用し、将来的な AI 活用につなげるため AI ready となるデータ基盤の重要性も高まっています。

本調査結果を受けて、**SmartDB®**の継続的な市場優位性は主に以下の 3 点に起因すると捉えています。

・大企業特有の業務要件を標準機能で実現

ドリーム・アーツは創業初期から一貫して大企業向けの製品開発に特化。大企業にて高まる業務デジタル化ニーズに対応することで顧客基盤を獲得、高い信頼を築いてきた。業務部門主体で容易にノーコード開発できる UI/UX、複雑なワークフロー、きめ細かい権限設定、高度なセキュリティ対応など大企業特有の業務プロセスのデジタル化に必要な機能を網羅している点が高い信頼性につながっている。

・他 SaaS 製品との優れた連携機能による業務カバー領域の広がり



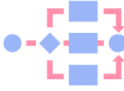

業務デジタル化クラウド **SmartDB®**は、高度なワークフローと Web データベース機能を備え、部門個別の一般業務から全社横断業務まで大企業のあらゆる業務のデジタル化が可能。他の SaaS 製品との連携機能にも長けており、MCSA (ミッションクリティカルシステムエイド)^(※2)として、財務会計や生産管理などの ERP フロントシステム領域に至るまで幅広い範囲で活用できる点も評価されている。

・デジタル化することによりデータが構造化され、自然と”AI ready“になる業務基盤

SmartDB®で業務をデジタル化することで、データは自然と構造化され AI が扱いやすい状態で蓄積される。**SmartDB®**は日本の大企業特有の複雑な業務もノーコードでデジタル化できるため、あらゆる業務を着実に“AI Ready”な状態へと導く。この業務基盤上で AI を活用する新オプションとして、2026 年 4 月より「**SmartDB Practical AI (PA)**」^(※3)」の提供を開始。AI が業務プロセスに溶け込むことで、大企業における AI 活用の障壁を取り除き組織全体の意思決定を加速。個人だけでなく組織として AI を活用できる状態を実現する。

【イメージ：あらゆる業務をデジタル化するための SmartDB の 4 つの機能】

あらゆる業務をデジタル化するための「SmartDB」の4つの機能

 <p>入力情報を標準化 フォーム作成</p> <p>自由自在のフォーム生成と、所属部署などでの閲覧、編集可否など緻密なコントロールが可能。</p>	 <p>業務データ管理・分析 Webデータベース</p> <p>柔軟なビュー制御・統合検索・統計グラフ・条件アラート・別業務マスター参照など、多彩な機能を用意。</p>	 <p>高度なプロセスに対応 ワークフロー</p> <p>申請系はもちろん、開発工程管理など高度な業務プロセスにも対応。他ワークフロー連携も。</p>	 <p>活発なコラボが生まれる コミュニケーション</p> <p>コメント機能・いいね機能・スタンプ機能・既読未読・ポータル連携・Teams 通知など、多彩な機能を用意</p>
--	--	---	--

※2 「ミッションクリティカル領域のシステム（MCS）を実践的に支える」というドリーム・アーツのコンセプトやシステムそのものを指す。

<https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/mcsa/>

※3 「SmartDB Practical AI（PA）」に関するプレスリリース

<https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/news/press-release/in260409/>

■ 「デジタルの民主化」を実現する SmartDB、今後の展望

ドリーム・アーツでは「デジタルの民主化^(※4)」を提唱しており、業務部門（非 IT 部門）が主体となった自律的な業務デジタル化を支援しています。オンライン学習コンテンツの充実やユーザー同士の情報交換の機会提供に加え、業務デジタル化の習熟度・スキルを個人へ認定する制度「SmartDB Certified Specialist : SCS^(※5)」の認定者輩出の強化により、大企業におけるデジタル人材育成の支援にも注力。さらに AI に関する適切な知識・認識を証明する新たな認定グレード「PA 認定」を 2026 年 5 月より公開。今後も SmartDB®は、連携機能の強化やオプション機能の追加、さらなるデジタル人材の輩出により大企業の業務デジタル化を支援し、市場の拡大をけん引してまいります。

※4 現場部門（非 IT 部門）が自らデジタルを活用し、全社のデジタル化を加速させること

<https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/democratization/>

※5 SmartDB®認定資格制度（SmartDB Certified Specialist）

<https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/scs/>

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。

SmartDB® (スマートデービー) について <https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/>

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1^(※6)の業務デジタル化クラウドです。現場個別の業務から全社横断業務までノーコードで開発可能。ワークフローとWebデータベースを中心に多彩な機能をもち、柔軟な外部システム連携、きめ細かな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。三菱UFJ銀行やKDDI、ツルハホールディングス、筑波大学など、大企業を中心にあらゆる業種業態のユーザーが利用中です。サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※6 テクノ・システム・リサーチ「2025年 SaaS型ワークフロー市場メーカーシェア調査」より

株式会社ドリーム・アーツについて <https://www.dreamarts.co.jp/>

「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに掲げるドリーム・アーツは、「協創」を自ら体現することで、顧客の真のソリューションパートナーとして総合的な課題解決をお手伝いしています。

主なサービスとして、大企業向け業務デジタル化クラウド「SmartDB®」、多店舗オペレーション改革を支援する「Shopらん® (ショッピングラン)」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「InsuiteX® (インスイートエックス)」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ 広報担当 金井、岡

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

TEL : 03-5475-2501 / 090-9149-3958 E-mail : pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©DreamArts Corporation.